

仕事と私

グループ6外和 弘樹 (ソトワ ヒロキ)

私にとって大切な社会とは、自分と仕事とのつながりです。私は将来化粧品や洗剤、石鹼などを取り扱う化学系の会社で働きたいと考え、この秋田大学工学資源学部環境応用化学科に入学し、日々勉強にはげんでいます。中学生の時や高校生の時はあまり深く将来について考えたことはなくて、ただ進学校に入学したからとりあえず大学に入学して、大学を卒業したら、毎日ご飯を食べることができて人並みの生活が送れる職業に就ければいいくらいにしか思っていませんでした。しかし、大学入試に向けて受験勉強をしていくうちに、化学が得意なことに気づきそれを生かしたいと思ったことと、どうせ大学で勉強してから就職するなら花王や旭化成といった大企業がいいなと思ったことがこの職業を目指すきっかけとなりました。私は高校生の時、さほど成績が良かったわけではないので、行ける大学は限られていましたが、そんな状況でも将来やりたいことを見つけることができ、大学で将来就きたい職業に必要な化学を専攻できたこと、またそれに向けて目標をもって大学で勉強できることは、自分にとって本当に大きな利益だと思います。また大学を卒業したら就職するという考えも、やりたいことを見つけたおかげで、今ではせつかく大学に入学できるレベルまで勉強してきたのだから、さらに上の大学院に行ってもっと勉強してから就職したいという考えにかわりました。現代の日本は就職難で、大学を卒業しても、就職できない人も少なくはありません。しかし、将来的には誰しもが親元を離れ、自立して生活していかなければならないときが必ずくるでしょう。そんな時、手に職をつけておかなければ必然的に苦勞することになります。自立するためには、就職して自分でお金を稼ぐことが必要不可欠です。そんな感じで将来就きたい職業や就職することについて考えていくうちに、仕事をする場が大切な社会となっていると思いました。

散歩では、秋田大学の教育文化学部 3 号館に行って、求人情報や就職に関するパンフレットがある場所に行き、さまざまな資料を見てきました。求人情報の多くは保育士に関するものばかりで種類が少ないことに驚きました。また就職に関するパンフレットにはどれも“キャリアアップ”という言葉が書かれていたし、学生に向け就職について大学外での講習会のお知らせなどがあって、学生たちに就職活動を積極的に行うように呼びかけているようでした。

グループでの話し合いでは、将来の仕事について藤原さんは看護師に、安さんは通訳になりたいと言っていました。二人とも将来やりたい職業を明確に考えていていいなと思いました。藤原さんは祖父がなったことがきっかけで看護師をめざしていて、現在看護科で看護学を専攻しています。看護学を専攻するということは、看護師以外の職業に就くのは難しいため、看護師になるためにそれ相応の覚悟をもって勉強してほしいとおもいます。

安さんは4か国語を話せるという長所から、通訳をめざしているそうです。しかし、安さんの場合、私や藤原さんとは違い、将来なりたい職業に必要な専攻をとれていないようで、その仕事をあきらめなければならないかもしれないということを話していました。せっかくの長所をいかせないのはもったいないことだし、どうせ就職するなら、自分のやりたい仕事でそれを生きがいにして精力的に取り組めるということが一番だと思いますが、本当に残念だと思いました。

グループの話し合いを終えて、仕事は私にとって大切な社会だと思いました。ただ単位を取るためだけに講義にでることより、このように将来なりたい職業にむけて勉強したほうが、勉強に対しても意欲が湧くし、就職活動だって積極的になれると思ったからです。また、私はまだ一年生なので、これからいろいろな分野を勉強していくうちに、就職に関して考える機会もたくさんあると思います。だから、今考えている職業だけでなく、自分に合った職業をさらに模索していくのも大切だと思いました。大学生活で一番のイベントはやはり就職活動なので、いまからそれに向けて自分の将来に目を向けることは、非常に大切だし必要なことだと話し合いをしていくうちに考えさせられました。私は現在一人暮らしをしていて、奨学金とバイト代で生活しています。バイトをして感じていることは、自分に合わない仕事は楽しくないし、やりがいもないし、長続きもしません。私は居酒屋でバイトをしています。帰ってくる時間が遅くてバイトが終わったらそのまま講義に出なければならなかったり、長時間の日もあつたりして、冬休みなんかはほとんどバイトで時間がつぶれました。後期の授業はバイト疲れで寝てばかりになってしまい、成績も前期とは比べ物にならないくらい下がりました。私は大学生なので、そこまでして稼ぐよりも勉強して単位を落とさないことのほうが大事だとは思っていますが、正直言って学問とバイトを両立させるのは、ほぼ無理に近いと感じています。だから今では採用が決まっとうきうきしていたころと打って変わって今では早く辞めたい気持ちでいっぱいです。このままでは目標だった大学院にも進学できないし踏んだり蹴ったりだと思いました。バイトならやめたいときにいつでも辞めることができますが、就職したら還暦までは働くでしょう。逆に就職してから辞めて再就職するということは現代ではとても難しいことで、その選択をする人は、さほど多くはないでしょう。つまり就職するということは、その職業と長く付き合っていくことになるはずなんです。だからそういうことも踏まえて、今専攻している勉強だけでなく、やりがいという面も考えて職業を選ぶこともまた一つの考えです。しかし、バイトをすることは、上記のように悪いことばかりではありません。実際に仕事をしてみることで社会勉強をすることができるし、大学以外の人とのふれあうことができ、大学の先輩とはまた違う店長などとの上下関係を経験することができます。だからこのようないろいろな経験をバイトで得てから就職活動をするのも悪くはないと思います。高校のときはできなかったバイトを大学生活のうちで一回は経験するのもよい選択です。秋田大学周辺なら、居酒屋のほかにも、塾講師やホテル、結婚式場やコンビニ、その他多く飲食店などさまざまなバイトできる場所があるので、やろうと思えばいつでもバイトを始めること

ができます。大学 4 年間という長いようで短い期間のうちに、上記のようないろいろな経験をしたり、さまざまな知識を身に付けてたりして、それを基に自分が就職したときに後悔しないように、将来を見据えながらこれからの大学生活を送っていきたいと思います。

この多文化コミュニケーションという授業は、留学生と会話するというイメージしかありませんでしたが、このように将来について考える機会になってこの授業をとってよかったなと思いました。留学生ともこのようなまじめな名目で真剣に討論できたことは、いい体験になったと思います。また、レポートでほかの班の人の意見を見て、私と社会という共通のテーマでも、さまざまな考えがあっっておもしろいと感じました。